

美術館に関する意識調査（関西エリア）

2025年度調査報告書

独立行政法人国立美術館

国立アートリサーチセンター 社会連携促進グループ

2026年5月

調査主催：独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター

調査実施機関：株式会社インテージ



独立行政法人国立美術館

国立アートリサーチセンター

National Center for Art Research

目次

1. 美術館への来館頻度「あなたはどのくらいの頻度で美術館を訪れていますか」	P 4
2. 初めての美術館来訪「あなたが初めて美術館に行ったのはいつですか」	P 5
3. 美術館への来館経験「美術館に行くとき、誰と一緒にいきますか」	P 6
4. 展覧会の情報認知経路「あなたが展覧会の情報を知るきっかけは何ですか」	P 7
5. 美術館に重視すること「美術館に行くとき、どのようなことを重視しますか」	P 8
6. 美術館の鑑賞環境「鑑賞する環境として魅力的なものはどれですか」	P 9
7. 美術館の施設・サービス「導入した方が良くと思う施設・サービスはどれですか」	P10

調査目的と調査概要

【調査目的】

本調査は、美術館に対する一般的な意識を確認することにより、国立美術館各館における活動の参考とすることを目的として、2025年に実施したものです。

【調査概要】

調査方法	・インターネット調査（スクリーニング調査 + 本調査）																																				
調査設計	<p>1) スクリーニング調査（一次調査）として8,000サンプルを回収</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社 インテージのモニターを利用し、モニター登録属性より、以下を抽出 関西の2府4県（滋賀、京都、奈良、大阪、兵庫、和歌山）／20～79歳／男女個人 ※以下のモニターは抽出対象から除外 <ul style="list-style-type: none"> 業種が以下のいずれかに該当する回答者：マスコミ・広告／新聞・放送業／市場調査 2018年からの当該調査の回答者（本調査は2015年から継続的に実施） <p>2) 本調査（二次調査）として1,000サンプルを回収</p> <ul style="list-style-type: none"> スクリーニング調査の回答者の中から、以下を抽出 美術館への来館頻度が年1回以上と答えた「美術館高関与層」800サンプル + 美術館への来訪頻度が年1回未満と答えた「美術館低関与層」200サンプル ※「美術館には全く行かない」回答者を除く 																																				
サンプルサイズ	<p>スクリーニング調査：8,000サンプル 2府4県（滋賀、京都、奈良、大阪、兵庫、和歌山）の男女構成比に準拠</p> <table border="1" data-bbox="626 1043 1345 1186"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>TOTAL</th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-79歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOTAL</td> <td>8,000</td> <td>1,092</td> <td>1,121</td> <td>1,379</td> <td>1,691</td> <td>2,717</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>3,873</td> <td>543</td> <td>559</td> <td>678</td> <td>826</td> <td>1,267</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>4,127</td> <td>549</td> <td>562</td> <td>701</td> <td>865</td> <td>1,450</td> </tr> </tbody> </table> <p>本調査：1,000サンプル</p> <table border="1" data-bbox="1378 1029 1895 1165"> <thead> <tr> <th></th> <th>TOTAL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOTAL</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>美術館高関与層（年1回以上）</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>美術館低関与層（年1回未満）</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「美術館にはまったく行かない」は除外</p>	性別	TOTAL	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-79歳	TOTAL	8,000	1,092	1,121	1,379	1,691	2,717	男性	3,873	543	559	678	826	1,267	女性	4,127	549	562	701	865	1,450		TOTAL	TOTAL	1,000	美術館高関与層（年1回以上）	800	美術館低関与層（年1回未満）	200
性別	TOTAL	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-79歳																															
TOTAL	8,000	1,092	1,121	1,379	1,691	2,717																															
男性	3,873	543	559	678	826	1,267																															
女性	4,127	549	562	701	865	1,450																															
	TOTAL																																				
TOTAL	1,000																																				
美術館高関与層（年1回以上）	800																																				
美術館低関与層（年1回未満）	200																																				
調査期間	<p>スクリーニング実査 2025年 10/2（木）～10/7（火） 本調査実査 2025年 10/9（木）～10/14（火）</p>																																				

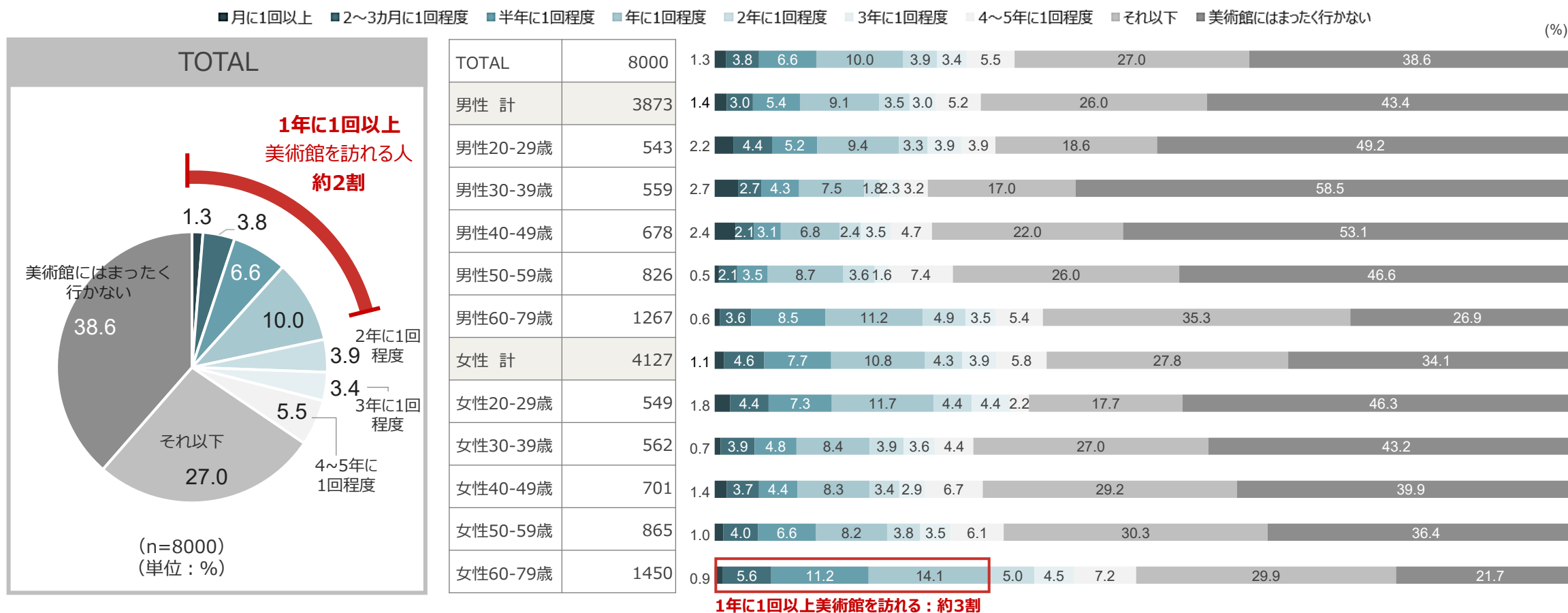


調查結果

美術館への来館頻度「あなたはどのくらいの頻度で美術館を訪れていますか」

- ✓ 美術館への来館頻度は、「美術館にはまったく行かない」が38.6%と最も高く、次いで「それ以下（4～5年に1回より低い頻度）」が27.0%、「年に1回程度」が10.0%となっている。
- ✓ 全体の約2割が1年に1回以上の頻度で美術館を訪れている。
- ✓ 性年代別では、女性60代以上は1年に1回以上美術館を訪れる人の割合が31.8%と最も高く、次いで女性20代が25.2%となっている。

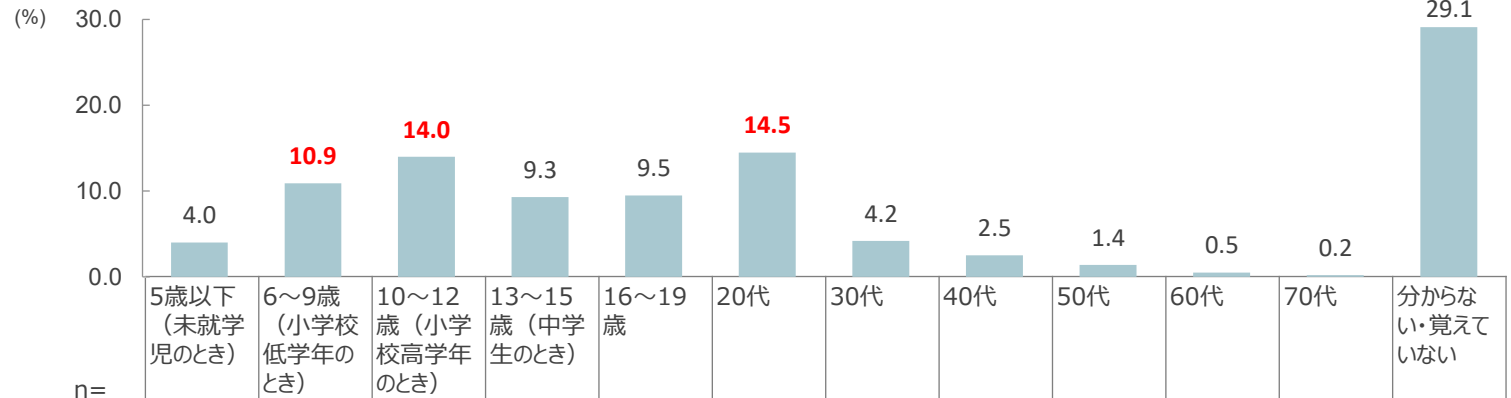
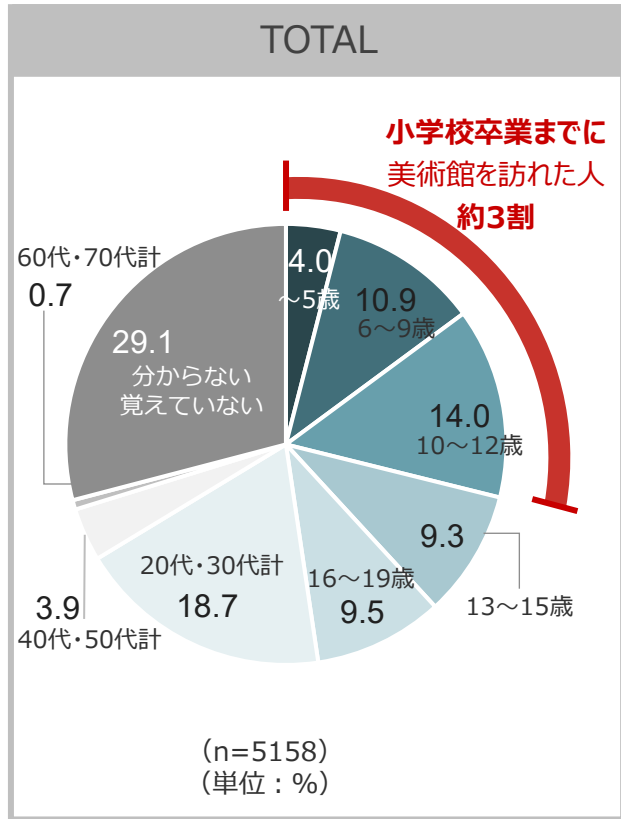
Q あなたは美術鑑賞のため、どのくらいの頻度で美術館を訪れていますか。あてはまるものをひとつお選びください。



初めての美術館来訪「あなたが初めて美術館に行ったのはいつですか」

- ✓ 初めての来訪時期は、「分からない・覚えていない」を除くと、「20代」が14.5%と最も高く、次いで「10～12歳（小学校高学年のとき）」が14.0%、「6～9歳（小学校低学年のとき）」が10.9%となっている。
- ✓ 全体の約3割が、小学校卒業までに初めて美術館を訪れている。
- ✓ 初めての来館時期に男女差はほとんど認められない。

Q あなたが初めて美術館に行ったのはいつですか。

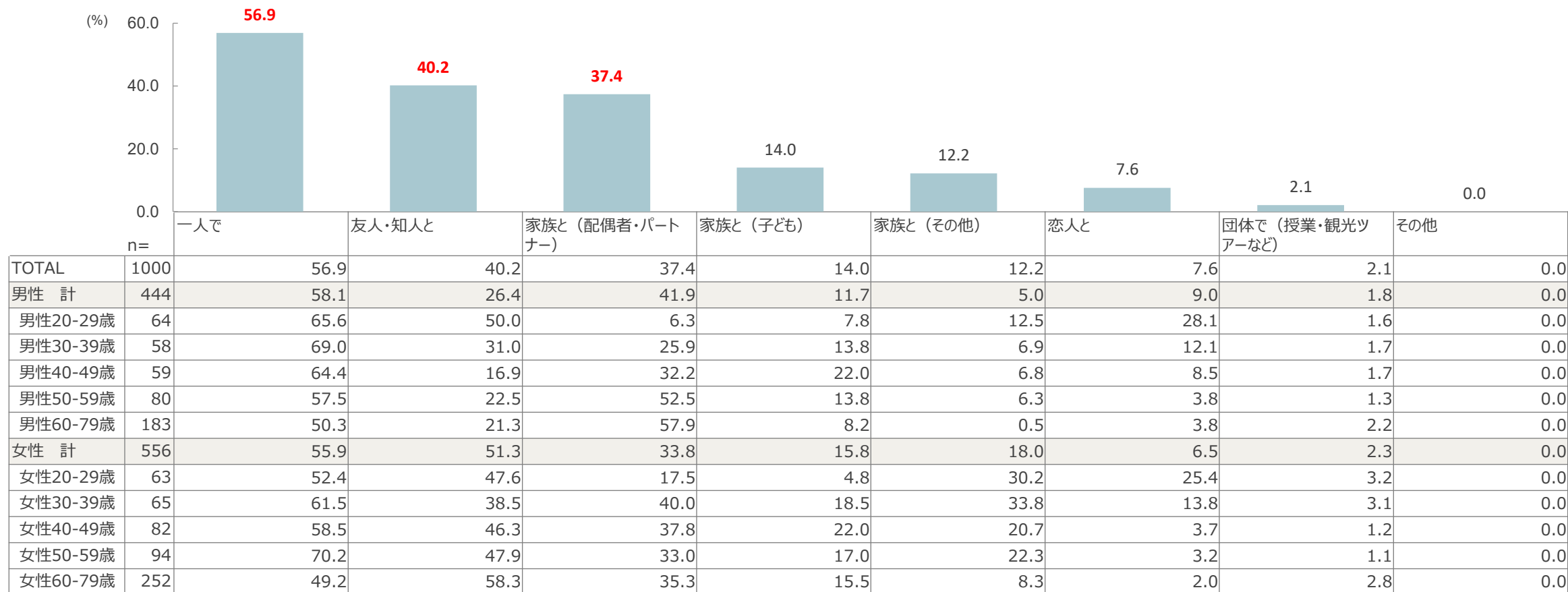


	n=	5歳以下 (未就学児のとき)	6～9歳 (小学校低学年のとき)	10～12歳 (小学校高学年のとき)	13～15歳 (中学生のとき)	16～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	分からない・覚えていない
TOTAL	4914	4.0	10.9	14.0	9.3	9.5	14.5	4.2	2.5	1.4	0.5	0.2	29.1
男性 計	2193	3.2	11.1	15.6	9.7	9.0	13.9	5.1	3.1	1.8	0.8	0.2	26.4
男性20-29歳	276	5.8	17.8	17.8	8.7	8.7	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
男性30-39歳	232	7.8	22.4	12.9	9.9	6.0	12.1	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	22.4
男性40-49歳	318	4.4	12.3	16.0	5.3	6.6	13.2	6.6	4.1	0.0	0.0	0.0	31.4
男性50-59歳	441	2.5	10.4	18.4	7.7	7.3	15.2	6.1	6.6	3.2	0.0	0.0	22.7
男性60-79歳	926	1.3	6.3	14.1	12.4	11.6	15.8	5.3	2.9	2.7	1.9	0.4	25.3
女性 計	2721	4.6	10.7	12.6	8.9	9.9	15.0	3.4	2.0	1.1	0.3	0.1	31.3
女性20-29歳	295	10.8	18.6	17.6	6.4	7.8	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.8
女性30-39歳	319	9.7	16.0	11.3	7.5	6.6	9.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	35.4
女性40-49歳	421	5.2	11.4	9.5	7.6	9.0	14.0	3.8	3.3	0.0	0.0	0.0	36.1
女性50-59歳	550	3.3	10.0	14.0	6.9	8.2	17.5	4.4	2.7	0.9	0.0	0.0	32.2
女性60-79歳	1136	1.8	7.3	12.2	11.4	12.5	16.9	3.6	2.3	2.2	0.8	0.4	28.6

美術館への来館経験「美術館に行くとき、誰と一緒にいきますか」

- ✓ 美術館来館時の同行者は、「一人で」が56.9%と最も高く、次いで「友人・知人と」が40.2%、「家族と（配偶者・パートナー）」が37.4%となっている。
- ✓ 性別では、女性は「友人・知人と」の割合が男性よりも顕著に高い。
- ✓ 性年代別では、男女50代以下は「一人で」の割合が最も高いが、男性60-70代は「家族と（配偶者・パートナー）」の割合が最も高く、女性60-70代は「友人・知人と」の割合が最も高い。

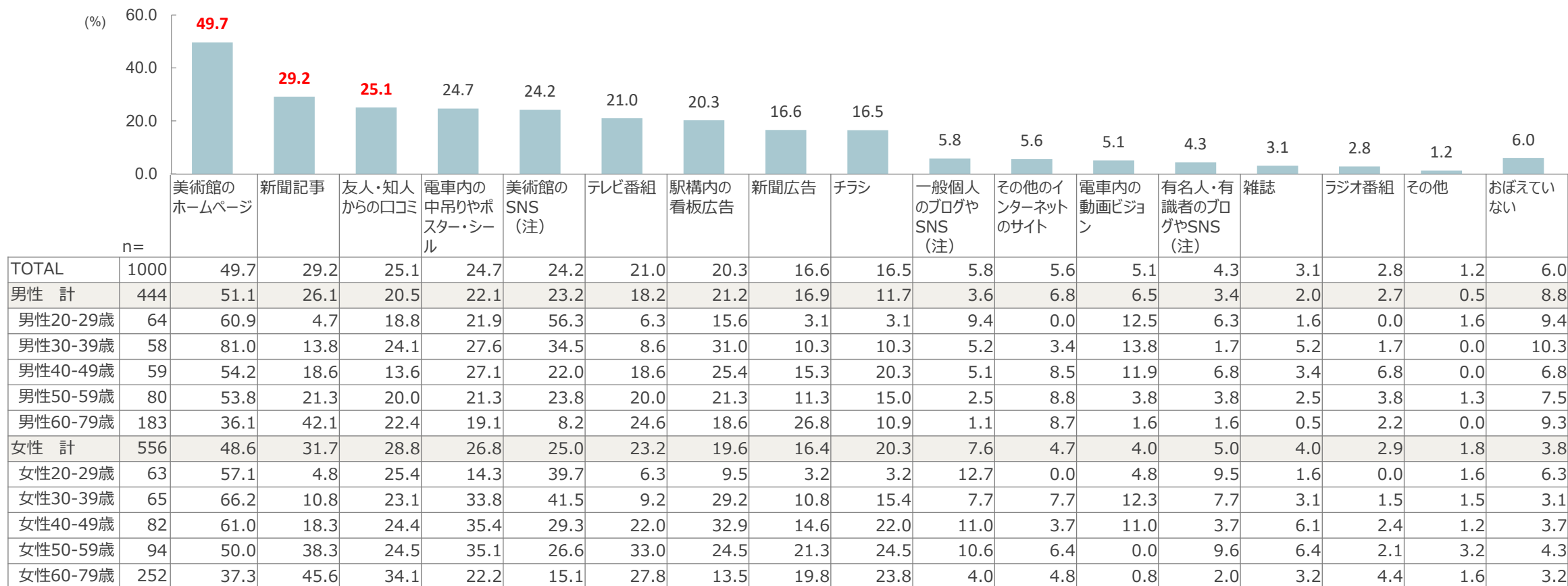
Q 美術館に行くとき、どのような方と一緒にいきますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。



展覧会の情報認知経路「あなたが展覧会の情報を知るきっかけは何ですか」

- ✓ 展覧会の情報認知経路は、「美術館のホームページ」が49.7%と最も高く、次いで「新聞記事」が29.2%、「友人・知人からの口コミ」が25.1%となっている。
- ✓ 性年代別では、50代以下は「美術館のホームページ」が最も高いが、男女60-70代は「新聞記事」が最も高い。
- ✓ 年代が低いほうが「美術館のSNS」の割合が高い傾向にあり、年代が高いほうが「新聞記事」と「テレビ番組」の割合が高い傾向がみられる。

Q あなたが普段、美術館の展覧会の情報を知るきっかけはなんですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

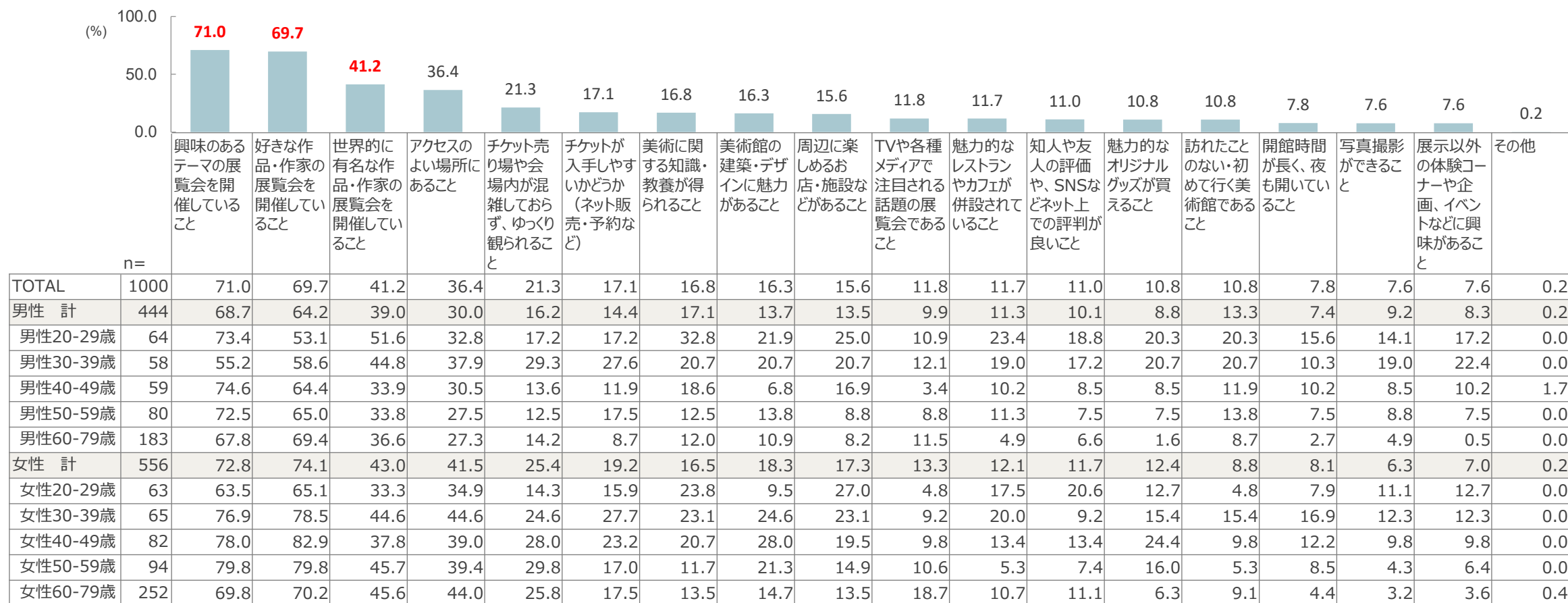


(注) Facebook、X、Instagramなど

美術館に重視すること「美術館に行くとき、どのようなことを重視しますか」

- ✓ 美術館に重視することは、「興味のあるテーマの展覧会を開催していること」が71.0%と最も高く、次いで「好きな作品・作家の展覧会を開催していること」が69.7%、「世界的に有名な作品・作家の展覧会を開催していること」が41.2%となっている。
- ✓ 性別では、女性は「好きな作品・作家の展覧会を開催していること」と「アクセスのよい場所にあること」の割合が男性よりも高い。

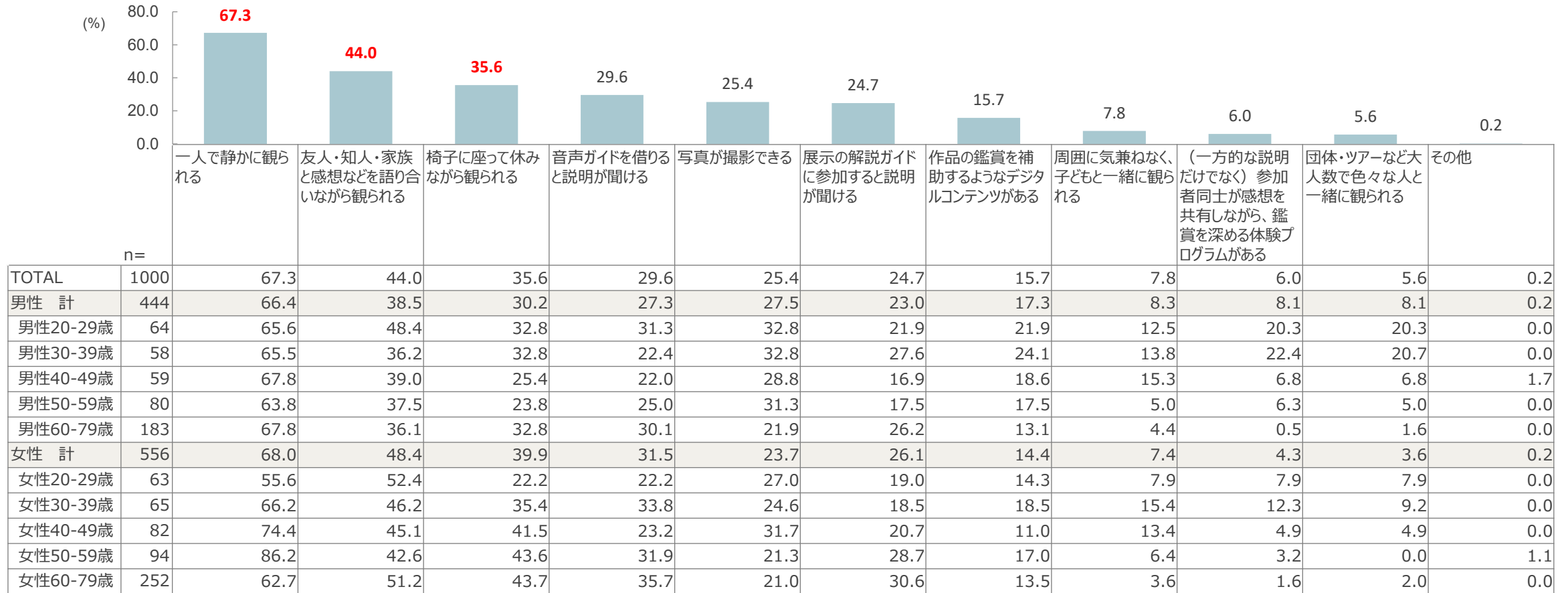
Q あなたが美術館に行くとき、どのようなことを重視しますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。



美術館の鑑賞環境「鑑賞する環境として魅力的なものはどれですか」

- ✓ 美術館の鑑賞環境は、「一人で静かに観られる」が67.3%と最も高く、次いで「友人・知人・家族と感想などを語り合いながら観られる」が44.0%、「椅子に座って休みながら観られる」が35.6%となっている。
- ✓ 男性20-30代は「（一方的な説明だけでなく）参加者同士が感想を共有しながら、鑑賞を深める体験プログラムがある」、「団体・ツアーなど大人数で色々な人と一緒に観られる」が他の性年代よりも顕著に高い。

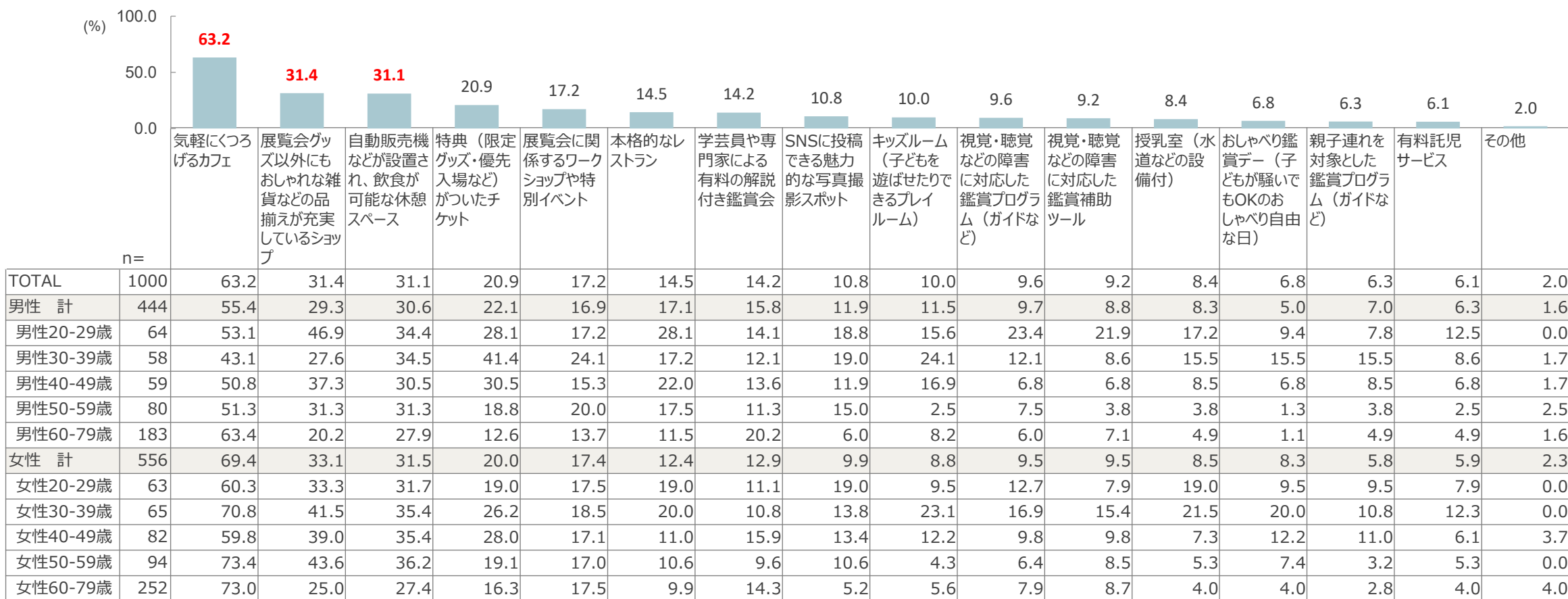
Q 美術館で作品を鑑賞する環境として、魅力的だと思うものについて、あてはまるものをいくつでもお選びください。



美術館の施設・サービス「導入した方が良いと思う施設・サービスはどれですか」

- ✓ 美術館の施設・サービスは、「気軽にくつろげるカフェ」が63.2%と最も高く、次いで「展覧会グッズ以外にもおしゃれな雑貨などの品揃えが充実しているショップ」が31.4%、「自動販売機などが設置され、飲食が可能な休憩スペース」が31.1%となっている。
- ✓ 男女20-40代は、他の年代と比較して「キッズルーム」や「授乳室」、「おしゃべり鑑賞デー」、「親子連れを対象とした鑑賞プログラム」など家族での来館に必要なサービスの拡充を希望していることがうかがえる。

Q 美術館の施設・サービスについて、積極的に導入した方がよいと思うものをお答えください。あてはまるものをいくつでもお選びください。





独立行政法人国立美術館

国立アトリサーチセンター

National Center for Art Research

<注意事項>

- ・引用・転載する場合には、出典を明記してください。
- ・調査データを編集・加工等して利用する場合には、その旨も明記してください。
- ・国立アトリサーチセンターは、利用者が本調査結果を用いて行う一切の行為（調査結果を編集・加工等した情報を利用することを含む。）について、何ら責任を負うものではありません。
- ・上記記載事項は、著作権法上認められている引用などの利用について、制限するものではありません。

【調査に関するお問い合わせ先】

独立行政法人国立美術館
国立アトリサーチセンター
社会連携促進グループ

Mail: social-c@artmuseums.go.jp